

## 2025年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年6月3日

上場会社名 ピープル株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7865 URL <https://www.people-kk.co.jp/>  
代表者(役職名) 取締役兼代表執行役(氏名) 桐渕真人  
問合せ先責任者(役職名) 執行役(氏名) 飛田留美子 (TEL) 03-3862-2768  
四半期報告書提出予定日 2024年6月4日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

## 1. 2025年1月期第1四半期の業績(2024年1月21日~2024年4月20日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年1月期第1四半期	380	△62.4	△50	—	△50	—	△59	—
2024年1月期第1四半期	1,011	△28.8	1	△99.2	6	△95.3	4	△95.5

  

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年1月期第1四半期	△13.38	—
2024年1月期第1四半期	0.84	—

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年1月期第1四半期	2,318	2,121	91.5	485.00
2024年1月期	2,768	2,395	86.5	547.52

(参考) 自己資本 2025年1月期第1四半期 2,121百万円 2024年1月期 2,395百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年1月期	—	0.00	—	48.00	48.00
2025年1月期	—	—	—	—	—
2025年1月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 2025年1月期の配当につきましては、通期業績見通しと連動して勘案する方針でありますため、中間配当の実施は見送り、年末商戦状況を見極めた上で期末配当予想を発表させていただきます。

## 3. 2025年1月期の業績予想(2024年1月21日~2025年1月20日)

2025年1月期第2四半期累計期間 業績予想(2024年1月21日~2024年7月20日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	702	△70.7	△144	—	△144	—	△144	—	△32.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社の通期業績は、年末商戦期間(10~12月)の業績に大きく左右されます。本来通期業績予想を掲げるべきですが、このような玩具市場の特性に鑑み、直近で見通せる次期四半期の予想を掲げさせていただきます。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年1月期1Q	4,437,500株	2024年1月期	4,437,500株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2025年1月期1Q	63,352株	2024年1月期	63,352株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2025年1月期1Q	4,374,148株	2024年1月期1Q	4,374,148株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
3. 補足情報	8
カテゴリ別販売の状況	8
① 第1四半期累計期間売上高	8
② 新発売商品及び主なりニューアル商品	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期の経営環境についてお伝え致します。令和5年5月、厚生労働省により新型コロナウイルスが5類と位置付けられて以降、消費傾向はレジャーや外食に偏り、当社の属する玩具市場ではトレーディングカード、ゲーム類を除いて下降が続いております。

これは、玩具店への来客数が落ち込んでいる結果と見ています。というのも消費者の視点で見ると、コロナ禍の期間中にできたお家で楽しむエンターテインメントや、その後のレジャー・外食への積極的な行動変化に伴って、玩具店でのウィンドウショッピングに使う時間が相対的に減少している、というタイムシェア問題が根本的には影響していると考えられます。玩具購入行動の多くが、「玩具を買いに店舗に行く」ではなく「ウィンドウショッピングの結果、衝動的に玩具を買う」であったと推定され、つまり玩具市場減少の原因は、玩具店を訪れることより楽しいことがたくさんある、ということと見られます。

しかし玩具は、とくに乳幼児にとっては成長のための必需品。単純に、心に刺さるような商品がないことがこのような行動の遠因となっていると考え、私たちメーカーができることは指名買いを引き出すような、新しい魅力的な商品を次々と生み出し、親御さん方に玩具を選ぶ楽しさ、我が子に渡して喜んでもらう楽しさを伝えることだと考えます。

当社の強みは「デザイン思考」に基づく商品企画・開発プロセス、つまり「子どもの好奇心がはじける瞬間をつくりたい！」のパーパスのもと、子どもの本能的な欲求を観察によって見つけ出し、圧倒的に子どもが夢中になって遊ぶおもちゃを作り出し、広報の力でニュースを発信してブランドを育てて、競合の少ない新しい市場を開拓することに注力していきます。

前期、粗利改善と社内リソースの確保を目的とした大規模な事業改革（海外に向けた販売戦略変更および国内販売の一部既存事業の撤退）を実施し、海外・国内ともに新たな舵取りを開始しました。それに伴い、当期より、売上の質が大きく変化していくことから、前期比較においては大きな減少となります。また、新事業のローンチを目標としている来期までは、既存品と既存シリーズでの新商品で売上を支えながらも、研究開発費を中心に一定の先行投資を行って参ります。

このような環境下、当第1四半期は、既存シリーズの「ピタゴラス」が好調を維持し、前期撤退した2事業（自転車、お人形）の売上減少を一定幅に抑えました。

海外販売では、米国向け「Magna-Tiles」の販売先との契約変更に伴い、当期より当社がIPを持つセット品に対するロイヤリティ収入へ変わったことから、前期までとの比較で大幅な売上減となりました。

この結果、総売上高は、前年同期間比62.4%減の3億80百万円となりました。

売上高は大幅減となった一方で、粗利改善は大きな成果が表れ、原価率は前年同期間より21ポイントの改善となったことから、売上総利益段階では前年同期間比34%減の1億86百万円となりました。

経費では、新事業開発のための先行投資等約27百万円を研究開発費に含み、経費全体で前年同期間比16%減となりました。売上総利益以上の発生となり、営業損失50百万円（前年同期間は1百万円の営業利益）、経常損失は50百万円（前年同期間は6百万円の経常利益）、四半期純損失は59百万円（前年同期間は4百万円の四半期純利益）となりました。

(中期的な方針)

2025年の好奇心事業ローンチに向けて、当社の取り組みを広く認知していただくことが、商品ブランド育成にとって重要と考え、広報活動を積極的に行ってまいります。

PR TIMES STORY <https://prtimes.jp/story/detail/qb6ovdu0ykB>

X (旧Twitter) [https://twitter.com/PRTIMES\\_TV/status/1648884197648478209](https://twitter.com/PRTIMES_TV/status/1648884197648478209)

これら中期を見据えた施策を行いつつ、短期的な収益性改善策として、以下のような活動を継続的に行って参ります。

- ① ロングセラー商品の順次値上げ
- ② 現在ニーズのある商品を集中的にプロモーションし、お届けしていく活動
- ③ 既存カテゴリから、まだ接触できていないユーザーに刺さるような新商品の開発
- ④ 投資家の皆さまはじめ社会に向けた情報発信のためのIR活動

これらの活動状況は、随時当社発信のnoteでもお伝えして参ります。

(<https://note.com/people.pr>)

(カテゴリー別の概況)

当第1四半期累計期間の各カテゴリー別売上高およびリニューアル発売品につきましては、8ページをご参照ください。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末から4億50百万円減少の23億18百万円となりました。

流動資産では、主に現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少等により、前事業年度末から4億35百万円減少の20億52百万円となり、固定資産では、主に投資その他の資産の減少等により、前事業年度末から14百万円減少の2億66百万となりました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末から1億76百万円減少の1億97百万円となりました。

流動負債では、主に未払法人税等の減少等により、前事業年度末から1億76百万円減少の1億97百万円となりました。

固定負債は、前事業年度末、当第1四半期会計期間末ともに計上はありません。

(純資産)

純資産合計は、主に配当金支払等により、前事業年度末より2億73百万円減少し、21億21百万円となり、結果、自己資本比率は91.5%となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

(第2四半期累計期間 業績予測)

現在当社は、抜本的な収益性改善のため、将来性の望めないロングセラー商品を終了させつつ、2025年春から順次新規事業をローンチさせていく計画の途上にあります。今期は一時的な業績低下を見込みながら、収益性の高い既存シリーズを売り伸ばすことで、業績低下を最小限に収める施策を行います。

まず国内販売では、ピタゴラス、ねじハピ、やりたい放題の主力シリーズに投資を絞り、プロモーション強化とシリーズ新商品発売を投入していきます。

また、海外販売では、東南アジアを中心として販売ルートを開拓しており、当社主力の知育玩具を中心に拡販を進行しておりますが、本格的な販売稼働は下期となる見込みです。

上記のことから、次期第2四半期では、第1四半期同様に経費が先行して発生するため、営業利益段階では損失となる見込みです。

予想値としましては、第2四半期累計期間(2024年1月21日～2024年7月20日)は、売上高7億2百万円(前年同期比70.7%減)、営業損失、経常損失、四半期純損失はいずれも1億44百万円と予想しております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年1月20日)	当第1四半期会計期間 (2024年4月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,823,498	1,417,128
受取手形及び売掛金	371,379	259,946
商品	277,461	359,438
原材料	769	2,384
その他	16,134	14,834
貸倒引当金	△1,375	△1,251
流動資産合計	2,487,866	2,052,480
固定資産		
有形固定資産	23,380	24,954
無形固定資産	17,587	15,297
投資その他の資産	238,747	225,326
固定資産合計	279,714	265,576
資産合計	2,767,580	2,318,056
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	36,874	43,486
未払法人税等	120,008	877
その他	215,765	152,234
流動負債合計	372,647	196,597
負債合計	372,647	196,597
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	238,800	238,800
資本剰余金	162,705	162,705
利益剰余金	1,937,795	1,669,290
自己株式	△34,362	△34,362
株主資本合計	2,304,939	2,036,433
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	89,994	85,026
評価・換算差額等合計	89,994	85,026
純資産合計	2,394,933	2,121,459
負債純資産合計	2,767,580	2,318,056

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2023年1月21日 至 2023年4月20日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年1月21日 至 2024年4月20日)
売上高	1,010,740	380,481
売上原価	728,533	194,263
売上総利益	282,207	186,218
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	18,599	4,250
販売促進費	23,074	10,850
運賃	36,284	19,687
役員報酬	17,454	14,205
給料及び手当	35,237	30,834
退職給付費用	4,318	4,073
支払手数料	35,347	30,572
研究開発費	62,173	78,951
その他	48,841	42,813
販売費及び一般管理費合計	281,326	236,236
営業利益又は営業損失(△)	881	△50,018
営業外収益		
受取利息	55	162
受取保険金	8,961	-
その他	172	63
営業外収益合計	9,188	224
営業外費用		
為替差損	4,508	174
営業外費用合計	4,508	174
経常利益又は経常損失(△)	5,561	△49,968
税引前四半期純利益又は 税引前四半期純損失(△)	5,561	△49,968
法人税、住民税及び事業税	2,989	157
法人税等調整額	△1,081	8,421
法人税等合計	1,907	8,579
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,653	△58,547

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、玩具及び乗り物類の企画・販売を事業とする単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

### 3. 補足情報

カテゴリー別販売の状況

#### ① 第1四半期累計期間売上高

(単位：千円)

カテゴリー名	2024年1月期 第1四半期 (自 2023年1月21日 至 2023年4月20日)	2025年1月期 第1四半期 (自 2024年1月21日 至 2024年4月20日)	前年同期比(%)
乳児・知育・構成玩具(注1)	275,626	284,548	103.2
メイキングトイ(注2)	43,066	5,225	12.1
その他(遊具・乗り物・育児等) (注3)	130,891	40,132	30.7
海外販売・ロイヤリティ収入	561,157	50,576	9.0
合計	1,010,740	380,481	37.6

(注1) 旧「乳児・知育玩具」。

(注2) 2024年1月期はお人形シリーズ(ぼぼちゃんシリーズ)を含んでおります。

(注3) 従来別掲しておりました「屋内遊具・乗り物カテゴリー」は、2025年1月期 第1四半期より「その他」に含めて表示することに変更しております。これに伴い、2024年1月期 第1四半期の数値を変更後の区分に組替えております。

#### ② 新発売商品及び主なりニューアル商品

カテゴリー名	商品名	標準小売価格 (税込)
乳児・知育・構成玩具カテゴリー	「ピタゴラスBASIC 知育いっぱい! きほんボックス」	¥14,300
	「ピタゴラスBASIC 知育いっぱい! ラウンドハウス」	¥9,350